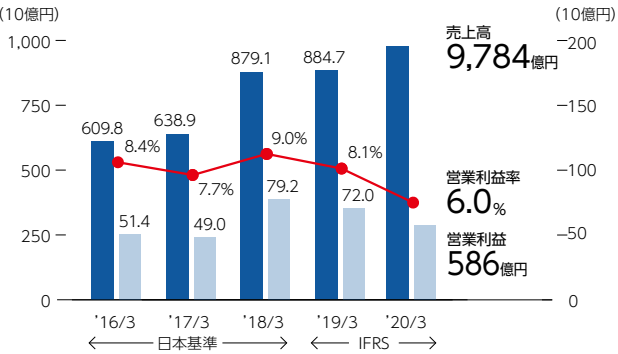


財務・非財務ハイライト

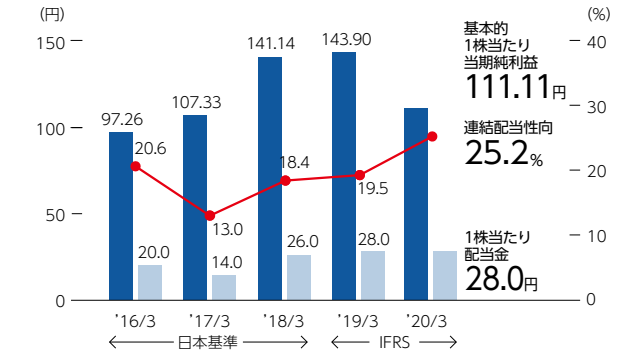
財務ハイライト

売上高、営業利益、営業利益率



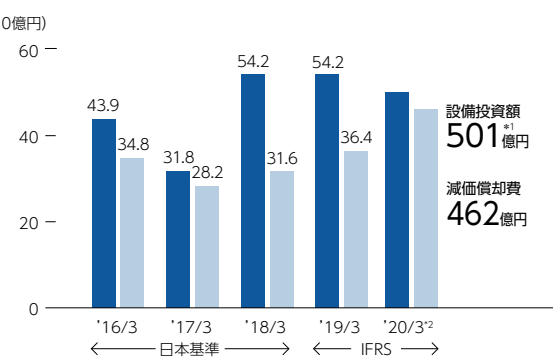
収益力のさらなる向上を実現するために、徹底したコスト削減、高付加価値製品と新技術の開発および販拡活動に注力した結果、売上高は過去最高を更新しました。

EPS および配当額



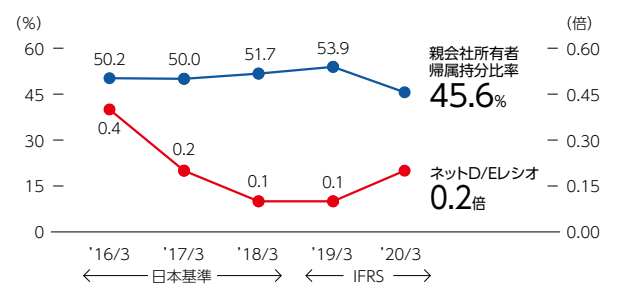
業績をより反映した水準での利益還元を図った結果、2020年3月期の配当は前期同様28円としました。

設備投資額、減価償却費



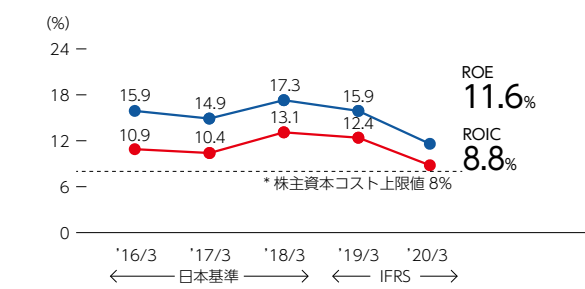
設備投資額は電子機器事業の増強投資を中心に実施しました。
*1 設備投資額には、IFRS第16号適用開始日に増加したリース資産は含まれておりません。
*2 2020年3月期には（株）ユーシンの設備投資額46億円、減価償却費46億円が含まれております。

親会社所有者帰属持分比率、ネット D/E レシオ



（株）ユーシンの統合に伴い、親会社所有者帰属持分比率は前期比で8.3ポイント低下、ネットD/Eレシオは0.2倍となりました。

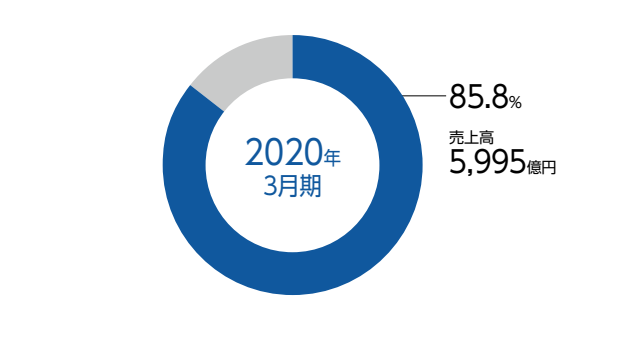
ROE、ROIC



ROE、ROICとも、高い水準を維持しています。ROICは株主資本コスト上限値を上回り、資本効率を高めながら企業価値を向上させています。

非財務ハイライト

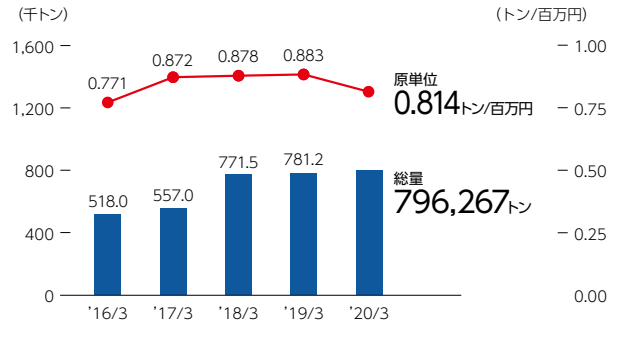
グリーンプロダクツ売上高比率



2020年3月期のグリーンプロダクツの売上高は5,995億円で、全売上高（自社で設計ができない製品を除く）の85.8%でした。

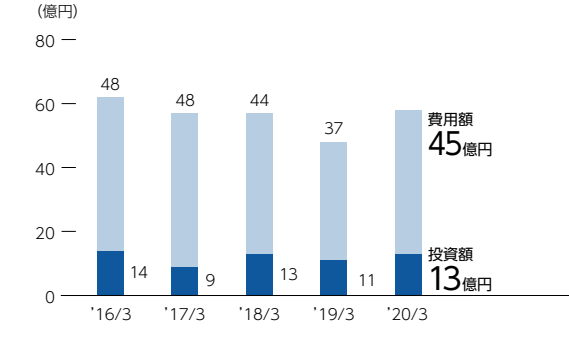
グリーンプロダクツ P.47

CO₂ 排出量



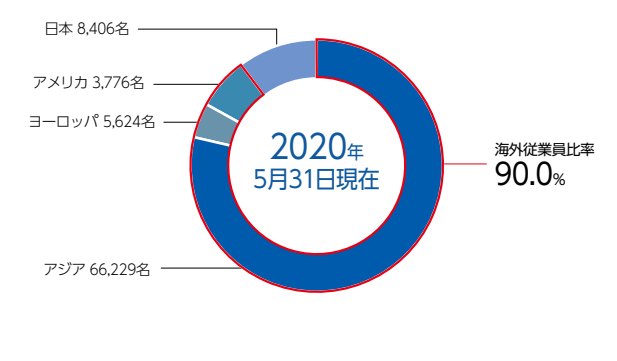
気候変動に関わるCO₂排出量を総量、生産高原単位でとらえています。2020年3月期は前期に比べ、総量で1.9%増加、生産高原単位で7.8%減少となりました。

環境保全コスト



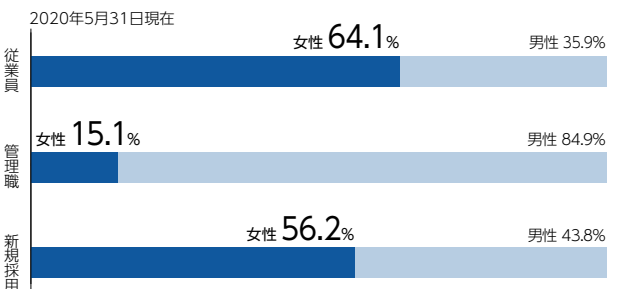
環境省の発行する「環境会計ガイドライン2005年版」を参考に、投資額、費用額の集計を行っています。2020年3月期の投資額、費用額を合わせた環境保全コストは58億円となりました。

地域別従業員数



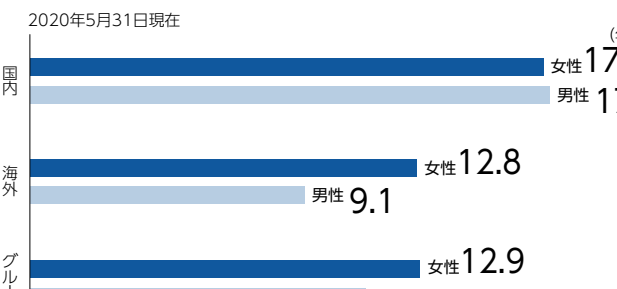
海外売上高・生産高比率がそれぞれ7割、9割近い数値のため、海外従業員比率は90.0%と高い数値となっています。

女性比率（従業員、管理職、新規採用）



多様な人材が能力を最大限に発揮できる環境づくりによって、新たな価値観や競争力の創出を目指し、女性活躍を推進しています。2020年3月末の女性従業員比率は64.1%、管理職比率は15.1%となりました。

男女別平均勤続年数



男女間で大きな差はなく、グループ全体では女性の勤続年数が長いことから、引き続き育児休業後に就業継続できる職場環境づくりに取り組んでいきます。